

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	北風と太陽 東海			
○保護者評価実施期間	令和7年11月26日		～	令和7年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月4日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	来所してからのルーティン 【片付け→学習(宿題・課題)→作業(身辺自立に向けた作業)】 をほぼ例外なく自身で取り組めるようになってきていること。	利用頂いている児童が無意識にできている “当たり前”を継承していく。 職員・先輩児童も含め皆で声掛けし定着を図って いく雰囲気づくり	雰囲気継続しながら、児童の年齢や能力に できる事の範囲やレベルを対応させ、 活動の提案や定着までの方法を検討・実施していく ルーティンを含めたスケジュールなどが意識できるよう 児童にもわかりやすく見える方法を検討・実施していく
2	積極的に活動プログラム(外出先・イベント)を発掘し、 新しい取り組み・経験値を増やす活動に注力している	“初めて○○やってみた”を積み重ねる事で、 学校等のイベントや先取りで不安感の払拭も心がけ 気づきを刺激しようとする活動を日々検討し 活動に取り入れている	どこに行くか?から何をするか?に少しずつ移行を促進 場所や環境に適應でき、各環境で、“楽しい事”を見つける 気づきを職員が声掛けを続けていく
3	居場所づくりの為の活動。自由度の高い利用方法 保護者様と学校での状況を情報収集 利用者主体の“現状”に配慮し、支援を行っている	個別・グループで、ルールを自分たちで決めていく 遊びの中で想像力や自身の役割に気付けるような時間を設定 今の心境に配慮し、主の活動以外に選択肢を設け 選択ができるような配慮をしている	個別の活動に偏ってってしまう事を認識しながら 皆がグループの活動に参加できるようなプログラムや 環境づくりを継続的に検討していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動(行動)や、日付横断的な活動が少ない	利用者の年齢の広がりや自由度の高い 活動方法であるが故に来所時間がまちまちであると 集団行動が少なくなってしまう傾向がある 利用時間が短い、利用頻度が低い児童に対して、 継続して取り組めるプログラムが提供できていない	利用者・利用時間帯を加味しながら 短い活動時間でも日付を横断して継続できるプログラムや 集団で行えるプログラムを検討していく
2	構造化を心がけてはいるが故 一人になりたい時等の落ち着き場所が少ない	勉強部屋・プレイルーム等仕切りをすると 事業所内の構造物の死角が多くなり 一斉来所時の導線の混雑や利用者全員が個別活動をする 目が行き届かなくなるシレンマ	年度毎に、新入生や既存利用者の 時間・曜日が変わった際に検討し 運用や、仕切り方法を継続的に変更が必要
3	情報発信力や周知に対する 保護者・外部の方へのアプローチの方法	工夫・検討を重ねた活動の参加依頼・報告等や イレギュラー対応(感染症・防災)等に対する対応 周知・情報配信が個別対応の部分が多く 再度の質問を頂く事が多くなっている	公式LINEを活用して情報発信の頻度を上げ、 わかりやすい資料の作成や、周知のタイミング等 継続的に検討/検証をしながら理解を深める 取り組みをしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	北風と太陽 東海					公表日	令和8年2月4日	
2025年12月時点、児童発達支援は利用期間1ヶ月未満の利用者のみの為、保護者評価は放課後等デイサービスのみのみ					利用児童数	25	回収数	19
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構築された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	1		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	7		休日のプログラムが中心になりますが、地域イベントへの参加や児童館の利用などを検討してまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	5		公式LINE等を活用して、研修会の情報提供などにつとめてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0	送迎時、職員がバタバタしており相談しにくい。	他児童の送迎に影響が出ることから、送迎時の相談等は難しいため、別に相談の機会を設けてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	4	7		夏祭りなど保護者様等ご家族も参加できるプログラムを増やせるよう検討し、情報発信してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	0	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	0	ラインでの問い合わせ、連絡帳に誰が記されたか名前を入れてほしい。	事業所としての連絡については、個人名は記載しておりません。内容についてのご相談に対応してまいります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	0	もっと情報を発信してほしい。子どもと職員とのやりとりやどのように活動してるか(ムービーで)	映込みの確認等が難しい動画の対応は行っておりません。それ以外の方法で情報発信につとめてまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	5		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	4	0	5		休日に訓練等を行う事が多いため、平日休日いずれにも訓練が行えるように、つとめてまいります。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	1		
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2		
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0		
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3	0	1		
	29 事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス 北風と太陽 東海		公表日	令和8年2月4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		宿題・作業、おやつなど場面にに応じて机を移動したり、場面異なるグループの切り離しに仕切りを使うなど工夫して使用している	スペースを広げる事はできないが、机の配置等を適宜変更。遊びやすさ・勉強しやすさ・安全性・集中できるスペースの確保に努めている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		規定の人員は確実に配置	規定の職員は配置しているが、利用日毎の利用者数に適応した配置バランスに考慮が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		貨物物の構造上、バリアフリー化に至っていない場所が点在。床/壁等 構造化で対応	ハード的には変えにくいですが、新年度(新入生)の特性に合わせた対応を含め、机やロッカーの配置変更など改善に取り組んでいく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除、適時消毒を実施。プレイルームには基本的にものを置かない状態で、活動に合わせ机等を移動しながら活動を行っている	老朽化が進んでいる部分については随時補修
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		場面にに応じて、部屋を区切るなどして、対応。ルールを決め利用している	必要性を随時考慮し、相談室や個別スペースを利用する事を検討する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援開始前のミーティング等にて利用児毎に課題が出て来た際に課題解決の目標を設定し、日々業務改善案を検討している	定期的に課題を検討し、課題の抽出を未然に検討し、業務改善をしていく方法を検討していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価については年1回実施。モニタリング時等、年2回の面談を有効に使いご意向の把握に努め、適宜業務改善進行中	改善につながるような意向の確認の方法 日々の送迎時の細かいニーズ等把握し不断の改善を模索
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを行い課題点を抽出業務改善につなげている	常勤・非常勤等、情報不足により、解決先・改善方法が違う場合も認識。全体最適を模索
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者外部評価はしておらず。グループで対応	グループ各店の情報により業務改善を実施
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修プログラム等は回覧し、スケジュール調整を含め苦慮しており、充分とは言いづらい状況	必要とされる参加はしているが、日々の業務効率化・スケジュール調整も含め社内での研修の充実を含め検討
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適宜作成し、公表している。	新規利用者のニーズを定期的に把握し追加・変更を検討・改善を行なっていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		利用頻度・保護者のスケジュールにより、濃淡は承知しているが、多くの職員の参加も含め客観的分析に努めている	継続し、適宜方法・内容を改善検討していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用頻度・保護者のスケジュールにより、濃淡は承知しているが、支援員・職員の意見を取り入れ、計画作成に携わっている	継続し、適宜方法・内容を改善検討していく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成後、作成経過も含め回覧し共有している	利用頻度・時間等で、濃淡は承知しているが、今後も支援実施の方法も含め、改善していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		在籍児童の尺度で独自のアセスメントを作成 日々の行動などのアセスメントを作成し、マンパワーに沿った記録を残している	継続し、適宜方法・内容を改善検討していく、
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援は必要な項目を設定され、プログラムにて具体的に支援を実施	「家族支援」・「地域支援」等、踏み込めていない部分もあると認識し随時方法論を模索業務改善進行中
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		常駐職員を中心に、非常勤職員の意見も取り入れながら、利用児に合わせたプログラムの立案に専心している	継続し、非常勤職員の参加方向も模索しながら適宜方法・内容を改善検討していく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供（続き）	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援項目を実現する為のお出かけ先等、気候や利用児童の多様化により、増えていかない状況ながら、固定化しないよう日々關心している	“何処へいく”から“何を”への移行を促進し場所を選ばず、固定化しないような活動プログラムを適宜、模索していく
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援・放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じて、自己選択を尊重していくと個別活動に偏っていく傾向はあるが、外出以外でも小集団にグループ分けしたプログラムを行うなどしている	室内での集団活動について、送迎時間のばらつきなどもあり、プログラムとしていかに増やしていくか模索している
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には全員で、打ち合わせの時間を確保。内容や役割分担等行っている	送迎の有無や時間帯のばらつきから役割が偏ってしまいう傾向がある 時間帯毎や週毎等に検討しチームでの連携した支援方法を模索
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	非常勤職員の就業時間/送迎場所の問題があり、日報等の書面にての振り返りが主。残りの職員で振り返りの時間を設け、次回利用時等に共有	非常勤職員含め、振り返り事項の共有方法を可視化の濃度をあげていくよう検討
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は全利用者・全利用日分漏れなく記載 職員の気付き等についても記録しているが、検証・改善については濃淡を認識している	変化や検証できるデータの精度は濃淡があると認識、不足部分を補う為、定期的に確認・内容等の精査必要
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎には漏れなく見直しを行っている	定期的なモニタリングには、利用日数・時間等で濃淡ありと認識。定期的に確認・内容の内容等精査必要
	24 【放】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立支援を中心に組み合わせ合わせて支援プログラムを作成し活動している	「地域交流の活動」の為の資源の発掘プログラムに不足感があり検討が必要と認識
25 【放】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団行動も主・以外の選択制にしたり、自己決定の機会を盛り込んでいる 隙間時間の遊びも自由度高く設定している	自己決定・集団行動の切り分けのルール作成も含めたルール作りを再考しながら支援の充実を図っていく予定	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		市主導で年5回程度で欠席なく参加 ケース会議等状況に応じて、支援員様との打合せもやっている	会議の先方スケジュールに柔軟に対応する為、情報の共有と当方参加可能な人員を増加し多方面からの情報収集を図っていく
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	医療連携は指定医療機関はあるが、利用が少なく、連携は困難。学校毎・担当先生毎(支援級・普通級)に差があるが、情報共有に努めている	連携強化課題。個人情報の問題を意識しながら、相互理解を深め、情報の集め方を検討
	28 【児】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者に理解を頂く事が難しいが、理解を得られるようお願いはしている。 実現は数例	事例を作りながら、情報共有・相互理解の方法をさぐっていくよう努力
	29 【児】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	保育所、幼稚園に関しては、情報共有中々難しい環境。支援員さん經由にて情報共有・相互理解をしている現状	学校に許可をいただければ積極的に情報共有と相互理解を図っていく
	30 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	学校・担任の先生に抛るところが大きく、学校毎/利用者毎の濃淡が大きい マニュアル化できていない部分もあり検討要	学校・担任の先生に抛るところが大きく、学校毎/利用者毎の濃淡が大きい マニュアル化できていない部分もあり検討要
	31 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	保育所、幼稚園に関しては、情報共有中々難しい環境。支援員さん經由にて情報共有・相互理解をしている現状	先方の事情もあり、保護者/支援員經由での情報と利用しながら情報共有を進めていく
	32 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	障害福祉サービスへの移行例がなく、小学校・中学校の卒業時に利用を終了する例がほとんどなので、事例なし	事例ができ次第方法を検討
	33 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	センターが主催する研修は随時回覧し研修参加をしている。	事例を作りながら、連携方法を模索
	34 【児】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	児童館の利用や地域イベントへの参加を行なっている。	保育所・児童館側の意向もあり、壁は低くはない。と認識している。 機会を模索し、交流の機会を検討
	35 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	児童クラブと平行利用の児童も在籍。 児童館の利用や地域イベントへの参加をしている。	児童クラブや、児童館側の意向もあり、壁は低くはない。と認識している。 機会を模索し、交流の機会を検討
	36 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		委員にて出席実績あり。(持ち回り参加)	市の意向等に依るところが大きいと認識 依頼があれば参加予定
37 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時に日々や近々の状況は確認しており、メール等も利用し支援計画時に外部意見や、課題を確認しており共通理解に努めている	学校・その他からの情報や当方での行動パターン・保護者との意思疎通度合いにより濃淡あり 個別の差異をうめていく努力要	
38 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	相談を頂いた際には、事例等ご紹介はしている	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)についての研修等、情報提供をさせて頂く	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	39	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に粒立てで詳細を説明している。利用開始後に不足分については適宜ご説明をし、負担金の増加やルール的大幅変更時には、書面等にて確認し、署名・捺印を依頼し確認している	継続するが、説明が不足な部分や問い合わせがあった項目については説明資料等を作成し説明の機会を作っていく予定
	40	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成時には、主に子どもの意向を確認し、家族のお話を聞きながら内容の確認・利用曜日や今後について話し合いの機会を設けている	利用頻度・家族状況により内容の濃淡があるので差異を減らすよう努力していきたい
	41	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		6ヶ月毎の計画作成時には、欠かす事なく説明を実施している	今後も同様の対応を予定
	42	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援員の方へのつなぎも含め、事例を紹介し支援を行っている	どこまで踏み込むか。事業所内での回答の検討も含め、情報共有を検討
	43	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者参加型のイベント企画をし、当日利用児童以外も参加できる時間帯を設けるなどしているが、あまり参加者は多くはなく苦戦	本件に対する保護者のご意見を継続的に収集し企画や情報発信を検討
	44	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に各所の連絡先を含め体制をご説明。苦情については最優先事項での対応を社内共有	今後も同様の対応と共有方法・履歴化を検討
	45	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		今年度より公式LINEを開始し、活動状況等をお知らせ。行事予定は利用のご予約を頂く際に概要等をお知らせし、ご質問は随時対応。	連絡体制等は契約時の為、利用が長い方へのリマインドや各種計画等の情報発信が適切に行えるよう検討
	46	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		関わる職員は意識づけされており、細心の注意を払っているが、写真撮影や、事業所以外の方との口頭のやり取りについての範囲に苦心	新規職員向け、運用の周知徹底の仕方について順次追加の制度化を検討。写真や事業所外の方とのやり取りについて、範囲・再確認を検討要
	47	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カード等を使用した伝達方法を実施 外出先等での意思疎通も見据えて、手話による表現にも取り組んでいる	手話については、職員・周囲の児童も一定程度の理解が必要であり、今後取り組みを促進
48	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	職員含め、関係して頂いており近隣との接点があり。招待等については個人情報や、時間帯・支援スケジュールとの兼ね合いもあり消極的	理解を深めて頂けるよう、地域行事にはイベント等で参加。招待等はなかなか困難だが、検討	
非常時等の対応	49	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを策定し職員への周知を進め、避難等の訓練については実施している	適宜実施はしているが、感染症のお知らせの要望等、個人情報等の観点から、保護者様の要望との温度差等感じる事もあり。保護者様への理解・周知の仕方を含め検討要
	50	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を策定し、避難等の訓練については定期的に実施している	支援をしながらの訓練は一般的な想定範囲に限られる為、支援内で想定幅を広げた訓練を行えるよう検討
	51	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○	服薬等の情報は確認しているが、個別毎の予防接種状況は確認していない	把握方法について今後検討
	52	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	アセスメント時には確認しており、職員内で共有しており、代替食を準備し対応している	把握はしているが医師の指示書までは確認しておらず。再度保護者への確認
	53	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	マニュアルを策定し安全管理に務めているが、研修や訓練は更に行なっていく必要がある	計画の内容については適宜検討を重ね、研修や訓練の機会を設けて安全管理の向上に努める
	54	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		マニュアルを策定し、緊急連絡先の管理や引き渡し時には保護者と連携している	計画の内容については適宜検討を重ね、面談時等の機会に保護者への周知確認
	55	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記載・共有し、回覧にて共有している	具体的な取り組み、結果等における経過や結果についての振り返り等の徹底
	56	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待委員会は年2回・内部研修/共有は年1回実施。外部研修についても適宜出席予定	今後も同様の対応を予定
57	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、対象児童なし	必要に応じ、保護者に説明/同意を得た上で然るべき対応(計画書/経過記録等記載)	